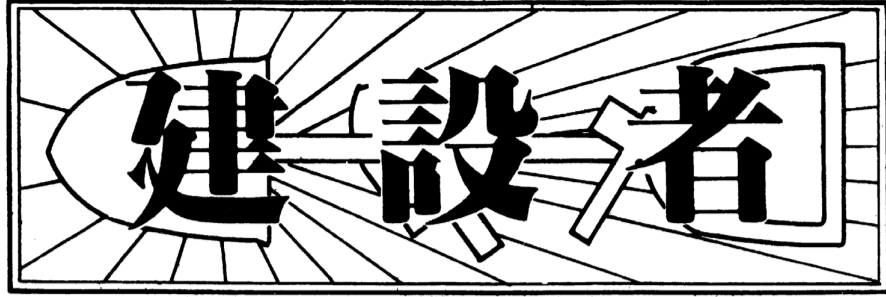


今月の葛飾組織現勢

2023年9月1日	4,178人
加入	70人
転入	1人
脱退	39人
転出	4人
2023年10月1日現在	4,206人



東京土建一般労働組合

葛飾支部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
 電話 (5698) 1 2 6 1
 FAX (5698) 1 2 6 2
 発行人 関根伸正

秋の拡大成果表

	2023年 1月 1日付	2023年 10月 1日付	1月比 増減	秋の拡大																	
				目標数	成果表																
					10月1日現在																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
たつみ	478	492	14	17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
奥戸	384	394	10	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
本田立石	324	320	-4	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
青戸	147	144	-3	5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
中央	382	370	-12	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
堀切	262	252	-10	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
亀有	383	384	1	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
細田高砂	377	379	2	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
柴又	176	174	-2	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新金町	299	296	-3	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
北水元	182	179	-3	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
幸田	271	269	-2	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水元	377	377	0	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
その他	179	176	-3	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
合計	4221	4206	-15	149	9月94人 10月 人 合計=94人																

1月1日付人員比 マイナス 15人

秋の拡大月間 目標149人

北水元一番乗りで超過達成

9月から取り組んでいる秋の仲間増やし(拡大)の月間は、8月27日に拡大出陣式からスタート。目標数149人に対して46人の成果から月間に突入しました。10月1日時点で94人の成果。9月末月間折り返しでは、目標50%をクリアすることができました。その中でも、北水元分会は目標6人に対して2人超過の8

人の加入で達成一番乗りとなっています。目標50%達成分は、たつみ・奥戸・青戸・中央・堀切・細田高砂・柴又・新金町・北水元・幸田・水元の11分會、拡大数ではたつみ分會の13人の加入を筆頭に、奥戸・細田高砂の11人の加入が続いています。

この秋の月間の取り組みでは、ジャンボハガキを使ったアンケートにも力を入れていきます。仲間の困っていることなどを聞きながら、仲間へ寄り添える行動を進めていきます。支部目標は149人。支部・分會役員だけでなく、多くの組合員の参加しからの行動でなければ、この目標数は達成困難です。一人でも多くの仲間を組合に迎え入れるた

めに、未加入の方からの相談があった場合は、東京土建をお勧めしましょう。組合員数が増えることは組織の力にもつながります。その力は、国保補助金獲得に対する大きな力にもつながります。多くの仲間を迎え入れて、私たち建設業界の処遇改善に向けた組合要求運動の力にしていきましょう。

【秋の統一行動日】

- 第6次：10月11・12日
- 第7次：10月18・19日
- 第8次：10月25・26日

財務省宛ハガキ要請

多くの組合員の方で進めよう

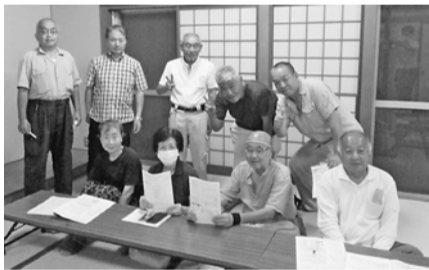


集まった対都要請ハガキ

6月から始まった来年度の土建国保への補助金確保のための予算要求のハガキ要請行動。多くの組合員・家族のみなさんの協力のもと取り組んでいます。8月から9月の2か月間取り組んでいた対都要請ハガキは、5158枚提出することができました。ご協力ありがとうございました。今月来月は、この厚労省からの概算要求額の減額をさせない取り組み(財務省宛ハガキ要請行動)が重要になります。ハガキシート組織人員分を目標に取組みを進めます。多くの組合員・家族の力で進めていく必要がありますので、ご協力をお願いいたします。

新金町分會

目標達成へ意思統一



目標達成へ意思統一(新金町)

秋の拡大月間。各分會が奮闘する中、新金町分會も9月28日の統一行動日に6人の分會役員が集まる中、役員紹

介から1人の加入者の持ち寄りがあり、みごと6人目の加入(目標11人)で、9月末までの50%以上の目標をクリアすることができました。

これまで出陣式で3人の持ち寄り。その後も着実な成果を積み上げてきました。この調子を維持しながら、秋月間の11人の目標達成に向けて参加した分會役員同士で意思統一できました。

この日は、同ブロックの隣の柴又分會からも陣中見舞いもありました。

寅さん

10月に入り、季節はずれであるが、まだまだ残暑が厳しい。地球温暖化の影響から北の海で獲れる魚の種類も変わってきている報道がされていた。5年後ですら温暖化の影響がどのようになるのか予測が難しい。

そして、10月からインボイス制度が導入された。組合で直前に行ったインボイス制度学習会に参加した組合員の真剣な顔が印象に残る。私たちが取り巻く生活環境は、依然と続く物価高、資材高騰により厳しさを脱していないのが現状である。

消費税の課税業者が増える一方で、税金の使い道はどうであろうか。財源の示されない防衛費など、計画性のなさは国の在り方としてはどうであろうか。岸田首相の聞く力はどうの声を聞いているのであろうか。私たちの声はどうすれば届くのであろうか。

また、今建設業では、人手不足倒産が急増し、大きな問題となりつつある。他産業と比べより大幅な賃金引き上げと、一層の処遇改善なしには、担い手確保ができず、建設業の将来展望は望めない状況となっている。私たちの建設産業を今後につなげていくためにも組合としての取り組みの重要性が増す。

個々人の力は小さくとも組合組織となれば大きな力となる。今は秋の拡大月間、一人でも多くの仲間を迎え入れ、私たちの処遇改善につながる大きな力としていこう。



チンドン屋を先頭に雷門の前をデモ行進 (世直し雷大行進)

世直し雷大行進

10月からインボイス制度が始まる直前の9月10日(日)、海外からの旅行者が多く集まる観光地、浅草を舞台に「インボイス導入やめろー2023世直し雷大行進」を行い、インボイス制度反対を訴えてアピール活動をしました。葛飾支部からの参加は25人でした。

当日は、まだまだ残暑の厳しい中、10時に浅草の花川戸公園で集会を約1時間開催。国會議員(日本共産党・れいわ新選組)や、都議、近隣自治体の区議會議員も参加した。

その後、花川戸公園を出発したデモ行進は、チンドン屋を先頭に浅草寺を囲む大通り(言問通り、国際通り、雷門通り)を歩き、街行く人へインボイス反対を訴えました。



銀座を歩いて東京駅までデモ行進 (9・13大集会)

9・13大集会 物価高騰・インボイスもう黙ってられない

私たちの生活を守るためにも、私たちの声を国会に届けよう。9月13日(水)、日比谷野外音楽堂で、「いま怒りは最高潮!もう黙ってはられない9・13大集会」を緊急で開催。9月とはいえ、30度を超える暑さの中ではありませんが、全国各地から19団体、1758人が集まりました(葛飾支部からは39人が参加)。集会では、国會議員、各業界からの訴えなどがあり、怒りの声をあげました。私たちが取り巻く状況は厳しさを増すばかりで、中小事業者にとっては材料費の高騰による危機的な経営状態、一方

労働者にとっても物価高による実質賃金の15か月連続マイナスで生活を圧迫しています。そんな中、10月からのインボイス制度導入は中小事業者や一人親方など様々な方面へ大きな影響を与えます。私たちの生活に直結する大きな問題です。始まってしまっから仕方ないではなく、しっかりと私たちの声を政府に届けるために緊急で集会を開催しました。集会最後には左記の内容を含む集会決議が採択。

- ①インボイス制度導入中止と消費税5%減税など国民生活を直接支援する政策を求めます
- ②マイナンバーカードの押し付け、現行の保険証廃止に反対します
- ③物価高騰・経済対策となる真水を国民に分配することを求めます
- ④国民的議論がないままに勝手に決める防衛費増額と天増税に反対します
- ⑤賃金引上げ政策をうちだし、最低賃金1500円を求めます



区議会各会派へ要望をする支部役員 (左)

区議会各会派要請 現状を伝え要請行動

今年も左記のように葛飾区議会各会派への要請行動を行いました。

- ・自由民主党議員団9月9日
- ・葛飾区議会公明党8月31日
- ・かつしか区民連合8月31日
- ・日本共産党葛飾区議會議員団8月31日

区議会各会派への要請行動は、区からの回答(対区要請は8月7日)をもとに、私たちの要請の趣旨を伝えながら、意見交換をしました。リフォーム助成制度、耐震助成制度、アスベスト対策、公契約条例をはじめ、これからの建設業の担い手確保につな

第78回大手企業交渉(10/19・20)
現場処遇改善を求める
みなさん声をお寄せください

来年の予算を組むこの時期に、区と区議会各会派へは私たちの現状を知ってもらい、その要望を伝える取り組みをしています。

最低賃金全国平均初の1000円超
東京の最賃 前年41円UPの1113円
この10月1日から東京都の最低賃金が1113円となります。東京都は前年度の1072円から41円の引き上げです。関東では東京を含む神奈川・埼玉・千葉の4都県が1000円以上の最低賃金となりました。
※全国加重平均は1004円で、前年度の961円から43円の引き上げ

インボイス学習会

直前学習会に38人が集まる



本部村本副主任書記

【税金対策担当】山澤書

【9月22日(金)に葛飾支部にてインボイス学習会を開催しました。講師には、本部の村本副主任書記が講師となり開催しました。参加者は38名の参加。

今回の学習会では、元請けや一次下請けとなる事業所や、一人親方など様々な立場の方が参加していただき、インボイス制度導入の直前も登録のやり方や取り止めのやり方、請求書・領収書の書き方、帳簿の記帳の方



学習会に真剣に耳を傾ける参加者のみなさん

法等の実務的な学習を行いました。

感想では、インボイス制度の話を一回聞いただけでは分からない。インボイス制度自体難しく理解できるのは何度聞いても聞くと大切だと報告もありました。

また、インボイス制度は始まってしまいましたが、導入後も納税者の混乱や業者同士でトラブルになってしまう恐れがあります。東京土建は、今後もインボイス制度導入中止を求める署名に取り組みしていきますので、群会議や駅での宣伝行動で署名の取り組みをしている際には、よろしくお願いたします。

11月24日(金)19時〜インボイス学習会を企画しますので、ぜひお越しください。

住宅デー直前企画

包丁研ぎ手育成へ講習会開催



10月の秋の住宅デーを直前に控えた9月26日(火)夜、葛飾支部会館で包丁研ぎ講習を開催しました。参加者は14人。

講師には、大工の片岡茂樹

実際に包丁を研いで感覚を掴む

さ(本田立石分会)と後藤英雄さん(本田立石分会)の2人に務めていただき、包丁研ぎを実践練習。両講師から砥石とベルトサンダーの両方の研ぎ方の説明を聞き、持参した自身の包丁を研いでいきました。

東京都支援を活用しよう

子ども対象最大6万支援

東京都が子育て支援の一環で、0歳から18歳までの子供を対象に月額5000円(年間最大6万円)を支給する制度【018サポート】が

都内に住所がある0歳から18歳までの子供(平成17年4月2日から令和6年3月1日までに生まれた子供)。

【支給時期】

- ①令和5年12月15日までに申請の場合↓令和6年1月
- ②令和5年12月16日以降に申請の場合↓別途支給

【支給額】

対象者1人あたり月額5000円(年間最大6万円)

【対象者】

9月1日からスタートいたします。所得制限がない制度になりますので、対象年齢の子さんがいる組合員のみならず、早めの申請をお願いします。

【申請方法】

- ①オンライン
- ②郵送：コールセンターに問い合わせで申請書類を取り寄せ

【問い合わせ】0570-0821-018

安心して子育てができる世の中に成長するにつれ可能性が広がる子供の未来のために「たくさんのお話を聞いてあげたい」とお母さんの方が多いでしょう。一方で、多くの方が「子育てには費用がかかる」と感じています。東京都の018(ゼロイチハチ)サポートではすべての子供たちの成長を妨げなく支えていくために月額5,000円を支給、子育てに希望が持てる子供の笑顔があふれる社会を実現します。

東京都の子供・子育て支援 **018サポート**

申請期間：令和5年12月15日(金)まで

対象年齢：0歳から18歳までの子供(平成17年4月2日から令和6年3月1日までに生まれた子供)

支給額：月額5,000円(年間最大60,000円)を上限とし、申請者1人あたり月額5,000円(年間最大60,000円)を支給します。

木密地域に感震ブレーカー無償配布

今年令和5年は、関東大震災から100年の年。東京都では、地震による火災の被害を軽減する出火防止対策を進める一環として、東京都内の木造住宅密集地域の木造住宅に住む都民約32万世帯に対して、9月からコンセントタイプの感震ブレーカーを無償配布しています。配布は木造住宅につき1個の配布で、予定数が亡くなり次第終了となります。

地震による火災の約6割が電気による火災とされています。地震の揺れに伴う電気機器からの出火だけではなく、停電からの復旧時に発生する火災にも注意が必要です。通電火災の具体的なものとして、①地震による停電が解消して通電した際、電気ストーブ周りに散乱した雑誌などに着火、②地震により家具転倒等により、電気コードが損傷し、通電の瞬間にコードがショートし発火などが事例として報告されています。ただし、無償配布1個設置だけでは防火対策が十分ではありません。

【無償配布の対象地域】

葛飾区内の主な配布対象地域は左記のとおりです。

【無償配布の対象地域】

青戸2丁目

奥戸2丁目

金町3・5丁目

鎌倉4丁目

柴又1・4丁目

新小岩3・4丁目

高砂2・8丁目

宝町2丁目

立石1・3・4・8丁目

西新小岩3・5丁目

東金町3・6丁目

東新小岩4・5・6・8丁目

東立石2・4丁目

東堀切1丁目

東四つ木3・4丁目

細田5丁目

【問い合わせ先】

東京都出火防止対策促進事業コールセンター 0120-8888-2809

【支部開催】石綿特別教育

受講者募集

石綿(アスベスト)等が使用されている建築物、工作物の解体・改修等の作業に従事するときは、その従事者は石綿(アスベスト)によるばく露の危険性があることから、特別教育の受講が必要になります。この秋、葛飾支部会館で【石綿特別教育】を開催します。作業に携わる可能性があり、受講の必要のある方は、支部事務所まで申込んでください。

今後アスベスト含有の可能性のある建築物の解体・改修

【無償配布の対象地域】

葛飾区内の主な配布対象地域は左記のとおりです。

【無償配布の対象地域】

青戸2丁目

奥戸2丁目

金町3・5丁目

鎌倉4丁目

柴又1・4丁目

新小岩3・4丁目

高砂2・8丁目

宝町2丁目

立石1・3・4・8丁目

西新小岩3・5丁目

東金町3・6丁目

東新小岩4・5・6・8丁目

東立石2・4丁目

東堀切1丁目

東四つ木3・4丁目

細田5丁目

【問い合わせ先】

東京都出火防止対策促進事業コールセンター 0120-8888-2809

石綿調査者公表リスト作成 掲載者募集

一定以上の建築物等の解体または改修の作業を行うときには、対象建築物等の石綿等使用の有無についての調査が必要とされ、令和5年10月より、事前調査を実施するために必要な知識を有する者として、建築物石綿含有建材調査者が行うことが義務付けられました。

東京土建葛飾支部では組合

内からの調査者所持者を求める問い合わせに備え、建築物石綿含有建材調査者のリストを作成し、公表を予定しています。このリストは葛飾支部所属の組合員が建築物石綿含有建材調査者の参考としていただくものであります。リスト掲載条件は①東京土建葛飾支部の組合員であること、②二年以上の組合費・保険料の滞納がないこと、③リス

ト化に関する諸費用はかかりません。申込・お問い合わせは支部まで。

【無償配布の対象地域】

葛飾区内の主な配布対象地域は左記のとおりです。

【無償配布の対象地域】

青戸2丁目

奥戸2丁目

金町3・5丁目

鎌倉4丁目

柴又1・4丁目

新小岩3・4丁目

高砂2・8丁目

宝町2丁目

立石1・3・4・8丁目

西新小岩3・5丁目

東金町3・6丁目

東新小岩4・5・6・8丁目

東立石2・4丁目

東堀切1丁目

東四つ木3・4丁目

細田5丁目

【問い合わせ先】

東京都出火防止対策促進事業コールセンター 0120-8888-2809



シャインマスカット食べ放題を堪能

たつみバスレクに54人参加 シャインマスカット食べ放題に大満足

【たつみ分会 教宣部 村越義一】まだ暑い最中の9月10日(日) たつみ分会ではバス日帰り旅行を行いました。去年の11月以来、2年連続の開催になります。参加人数は54人となりバス2台での出発

となりました。行き先は山梨県勝沼。談合坂で休憩後現地のワイナリーに直行。5種類のワインを試飲してさらに購入する品種の試飲もして顔を赤らめていた人もいました。次に今回メインのシャインマスカット40分食べ放題。一房狩ったらずらら食べるルールで食べられないと思った人は周辺に置いてあるクーラーボックス内のはらした状態で冷えているものを食べるらしい。でもこれが冷たく美味しかった。そして甲府盆地の市街地を一望できるフルーツパーク富士屋ホテルで和食のコース料理を楽しみました。帰る途中で里の駅いちのみやに寄りしましたが、大混雑で買い物出来た人は少なかつたようです。渋滞で1時間到着が遅れましたが皆楽しい1日を過ごしました。

女性のつどいに49人が参加 1カ月早く開催し意思統一



つどいの最後に団結ガンパロー

【女性の会担当松沢書記】9月2日(土)、葛飾支部会館3階にて女性のつどいを開催しました。

折笠会長、及川委員長、本部主婦の会よりご来賓挨拶をいただき、北支部出身の石川本副委員長による「拡大運動、組合活動で役員は何をするべきか」を講演していただきました。

石川氏による講演では、全都11万人以上の組織を持つ東京土建の政治的な影響力、地域最大組合の力は議員さんをはじめみんな気になる事、だから組織を維持し、強い組合を作る為に組織拡大は必要であること。また、奥さんの了承がないと組合活動に参加が難しいことを考えると、旦那さんの背中を押してあげられると助かります、というメッセージがありました。

この講演を受けて、大山組織担当より秋の会員拡大11名目標への訴えがありました。また折笠会長より台風で参加が危ぶまれた長崎県での原水禁大会参加報告、恒例の手芸教室では風呂敷バッグの制作があり、最後は団結ガンパローで意思統一を行いました。全体49名の参加でした。

葛飾区自転車ヘルメット補助

早めの申請をしよう

葛飾区では、今年8月21日から来年2月29日までの期間で自転車用ヘルメットへの補助制度(上限3000円)を開始しました。対象の方は申請をしましょう。

【助成対象】葛飾区内在住で自転車を利用する個人

【対象ヘルメット】令和4年12月20日以降に購入した物

【問い合わせ】03-422131345

公式LINE登録しよう
南葛SJCチケット情報も配信中



仲間の作品コンクール

みなさんの応募待っています

今年も仲間の作品コンクールを実施します。葛飾支部組合員からも応募があり、毎年のように受賞作品がでています。

【応募要綱】
【文芸の部】①短歌部門、②俳句部門、③川柳部門
※一人につき1部門5作品まで応募可。
【写真部門】①組合活動部門、②スナップ部門、③風景部門(各部門ともスマホ写真、A4又は六つ切りなどで応募。デジタルカメラ写真もOK)④今年の課題II

今年も仲間の作品コンクールを実施します。葛飾支部組合員からも応募があり、毎年のように受賞作品がでています。なじみのコンクールです。昨年は、写真部門の組合活動の部で芳井武さん(青戸)が佳作、短歌の部で篠田綾子さん(北水元)が佳作を受賞しました。

【アツい】を感じる確かな瞬間。(仕事や趣味、スポーツなど真剣に打ち込んでいる、頑張っている、そして楽しんでる姿は人の心を打ち前向きに元気にさせてくれます。厳しい時だからこそその皆さんの「アツい」姿を募集する部門です)

2022年写真部門【佳作】
雨降る中 芳井武さん(青戸)



ウクライナ戦火の映像きり代えて
サッカー拍手"なにか"が軋しむ

篠田綾子

2022年短歌部門【佳作】

篠田綾子さん(北水元)